

奥州市「協働のまちづくり」シンボルマークの選考結果について

■募集期間

平成28年9月12日(月)～10月11日(火)

■応募状況

- ・応募者数 個人28名 団体1団体
- ・応募作品 40作品
- ・応募者の居住地 奥州市内 15名(うち専門学校生1名、高校生6名、小学生1名)、1団体
岩手県内 1名(陸前高田市)
其他都道府県12名(青森県、山形県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、高知県、熊本県)

■選考の流れ

①第1次審査 10月14日(金)～19日(水)

特定非営利活動法人奥州・いわてNPOネットにて設置する選考委員会(以下「選考委員会」という)による書類審査において採用候補作品10作品を選定。

②市民意見募集 10月24日(月)～11月7日(月)

第1次審査で選定した採用候補作品について、市民からの意見を募集(市民10名より11件)

③市民公益活動団体支援事業審査会委員からの意見徴収 11月17日(木)

市民公益活動団体支援事業審査会において審査会委員より採用候補作品に対する意見を徴収

④最終審査 11月25日(金)

市民及び審査会委員からの意見を参考に、選考委員会にて候補作品10点の中から最優秀賞(採用作品)1点、佳作2点を選定。市内の学生応募者の作品の中から選考委員特別賞1点を選定。

■選考結果

★最優秀賞(採用作品) 1点

賞状及び3万円分相当の奥州市特産品



応募者氏名 後藤 二三夫
居住地 奥州市水沢区

マーク説明

水沢・江刺・前沢・胆沢・衣川の5つの地域を、丸(和)で表しました。○をつないで奥州市の協働のまちづくりの市民の心のつながりを意味します。中心は、発信と成長していく芽と希望を表します。

☆佳作 2点

賞状及び1万円分相当の奥州市特産品



応募者氏名 衣川地区振興会
所在地 奥州市衣川区

マーク説明

花びらは奥州市の花「桜」を表わし、5枚の花びらは5区を表わしています。花びらの芯はまさに奥州市のマーク(市章)を配置しました。



応募者氏名 梅村 元彦
居住地 愛知県春日井市

マーク説明

頭文字「奥」をモチーフとして、市民が温かな心をもって、明るく、楽しく、元気よく、「協働のまちづくり」をしているイメージとしました。

☆選考委員特別賞 1点

賞状及び図書カード5,000円分



応募者氏名 米倉 寿莉
学校・学年 水沢商業高等学校 2年

マーク説明

奥州ブランドのりんご、牛、米、ピーマン、トマト、きゅうりを南部鉄器に集めることによりそれぞれの主体がともに力を合わせた様子、コラボレーションしている様子を表してみました。デザインのようにみんな笑顔になれるまちになればうれしいです。